

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

<b>部門名：</b>	<b>エントリー名：</b>
地域とともにある学校実践部門	島根県教育庁益田教育事務所（研修時 益田市立安田小学校）田中茂秋 平成 30 年度第 1 回 副校長・教頭等研修
<b>活動名：</b> 一緒に学んでみ益鹿(ますか) ～益社連協議会研修会【基礎講座】～	
<b>解決すべき課題：</b>	
益田管内【資料①】の社会教育の活性化 益田市、津和野町、吉賀町それぞれ独自に社会教育の取組を行っている。それぞれが精力的にさらなる活性化をすることが当面の課題である。これが、社会に開かれた教育課程による地域とともにある学校、さらには、地域の活性化への一助だと考えている。	
<b>目標・方針：</b>	
益田教育事務所が、益田地区社会教育委員連絡協議会【資料②】の研修会で、参加者に主体的に島根県の社会教育の動向を理解していただくとともに、参加者同士が切磋琢磨しお互いに情報を交換する。それによって、意欲を高めあいさらなる活性化の一助としたい。	
<b>活動内容：</b>	
参加者でランチミーティングをした後、島根県教育庁社会教育課より社会教育の動向について講義を行う。その後、ワークショップ「益田管内の社会教育の活性化」を行う。 ※【資料③】参照	
<b>活動の成果：</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ランチミーティングは、開始前から和やかな雰囲気を出し、益田市、津和野町、吉賀町のつながりづくりにつながっていた。</li> <li>・ 社会教育や社会教育委員の基本的な内容やこれまでの自らの活動を見つめなおし、自分の行ってきたことの意味や行うこと自体の良さを再確認できた方もいた。</li> <li>・ 講師による講義が良く、それがその後のワークショップにもつながった。</li> <li>・ 参加した委員がしっかりと話す時間を確保することができたことが満足度につながっている。</li> <li>・ 担当者、派遣社会教育主事が思いや専門性を発揮しながら、社会教育委員の日頃の思いを出し合ったり、意欲を引き出せたりすることができた。 参考：【資料④】</li> </ul>	
<b>アピールポイント（アイデアや工夫）：</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会にワークショップ形式を取り入れ、参加する 3 市町の社会教育委員に主体的に参加していただけるようにすることで、参加の満足度を上げる。</li> <li>・ 研修会を島根県教育庁社会教育課、社会教育関係機関と相談しながら役割分担をして取り組むことで、より効果的な充実した研修会の内容になった。</li> <li>・ 派遣社会教育主事の専門性を生かす研修会を計画し及び実施することでグループワークが充実したものになった。</li> </ul>	

【資料①】益田管内について

島根県教育庁の機関である益田教育事務所が管轄する島根県の西部にある益田市と鹿足郡の 2 町(津和野町、吉賀町)のこと。益田市と鹿足郡で益鹿(ますか)地区とまとめて呼称することがある。

【資料②】益田地区社会教育委員連絡協議会について

規約第 2 条より、益田地区市町社会教育委員の相互連絡協調を図り、社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。普段はそれぞれの市町で役割を遂行している社会教育委員がこの協議会があることで、お互いに切磋琢磨できる関係にある。社会に開かれた教育課程を実現するにも地域が連携・協働できるつながりをもてるようにすることが大切であり、そのためにも教育委員会の施策に民意を反映させ、地域住民主体のものとなることが望まれている。益田教育事務所は、本協議会の事務局を担当している。



写真：研修会当日の様子

【資料③】益田地区社会教育委員連絡協議会研修会【基礎講座】の内容と流れについて

○ ランチミーティング

この研修会でワークショップを行うメンバーが同じテーブルで弁当を食べる。本題に入る前から少しでも親密になることを目的としている

○ 社会教育について一緒に学んでみ益鹿

・講義「社会教育」って？「社会教育委員」の役割は？

島根県教育庁社会教育課 社会教育グループリーダー 吉田茂延 氏

・ワークショップ「益田管内の社会教育の活性化」

① グループごとに派遣社会教育主事※1 や市町の担当者がファシリテートしながら、参加者がグループでそれぞれの市町の様子や日頃考えていること等自由に出し合う。出された意見は、大伴用紙にマーカーでメモのように記録していく。

※1：島根県教育庁社会教育課は派遣社会教育主事制度で、希望する市町に教員籍の社会教育主事を派遣し、その市町の社会教育の支援をすることで効果をあげている。

② 派遣社会教育主事、担当者以外は別のテーブルでどのような話が出されたのか聞き取り、元のテーブルで報告しあう。

【資料④】研修会後のアンケートより

- ・ ランチミーティングはとてもよい。この時間から情報交換が始まった。
- ・ 研修に入るまでテーブルの皆さんと話ができとてもよかった。
- ・ 基本的な役割が理解できた。あとは、それにこだわらず 日々の学びと体験の機会をいかに仕掛けていくか。であると思う。
- ・ 自分なりに今やっていることを行い委員としても一人の地域の大人として貢献していきたい。
- ・ 社会教育委員になって何年にもなりますが、「ときとともに過ごす」を大事にして「集って 楽しんで 学んで 動いて 変えていく」をモットーにして これからの社会教育委員としてもう少し頑張ります。
- ・ 元気に活動して、社会教育って何か誰でもできるということの重要性を学んだ。